

学習時間に応じた 科目選択がオススメ!

◆ 科目紹介

学習時間
目安
週13時間

暗記が得意な方にオススメ

国税徴収法

簿記知識不要!!

国税徴収法は理論学習が中心ですので、机に向かって反復練習を繰り返す計算学習と違い、通勤・通学・早朝・就寝前・昼休みなど上手く時間を使って学習することができる科目です。暗記も必要ですが理解が重要で、文章による説明力を徹底的に鍛えるカリキュラムになっています。権利関係や税金の滞納など、税務に携わる方が、知りたい内容を学習できます。

学習時間
目安
週14時間

法人税法の学習経験がある方にオススメ

事業税

簿記3級の
知識が必要!

事業税の出題分野の80%を占める「法人事業税」が「法人税法」を土台としているため、「法人税法」の知識があるとより効率的に学習を進めることができる科目です。従って、「法人税法」を学習した後に「事業税」を学習するのが合格の近道となります。「法人税法学習経験者」であり、4月以降の学習時間が十分に取れる方にオススメの科目です。

受講料 (消費税込)

大原税法
5%OFF

大原グループの講座(通学・通信)に初めてお申込みの方は、受講料の他に入学金6,000円(税込)が必要です。(入学金不要の記載がある講座を除きます。)

大学生協等割引価格はP.65をご覧ください

学習ボリュームが最小

酒税法

簿記知識不要!!

11科目中、最も学習ボリュームが少ないため、お仕事が忙しい方、複数科目の学習を検討している方に最適です。

酒類の原料や製造方法の知識で、どの酒類に分類されるかを考える学習項目があるため、酒類に興味がある方は楽しく学習できるメリットがあります。

学習時間
目安
週13時間学習時間
目安
週14時間

所得税法に興味がある方にオススメ

住民税

簿記知識不要!!

住民税は所得税法と学習範囲が重複する部分が多く、所得税法の学習経験があるとより効率的に学習を進めることができます。また、所得税法の学習経験がない方で、次年度以降に所得税法の学習を予定している方にとって、先に住民税を学習することで、学習内容のアドバンテージを得ることもできますので、次年度以降に所得税法の学習を予定している方にもオススメの科目です。

学習時間
目安
週14時間

解答スピードに自信がある方に最適

固定資産税

簿記知識不要!!

固定資産税の近年の計算問題の出題は難易度が低めのため、最終値を正解しやすい傾向です。電卓の打ちミス等のつまらないミスをおさえられることや解答スピードに自信があれば、学習しやすい科目です。また、理論問題は過去試験問題に類似している出題が多いため、試験対策が取りやすい科目です。

マークの
説明=受講に際して日商簿記3級の
知識または税理士入門の受講
が必要になります。

※1 1月開講初学者短期合格コースと同様のものとなります。
※2 19回目より講義時間が3時間となります。

映像通学(大原各校で実施) 詳細はP.62をご覧ください

受講科目	学習スタイル	回数	一般価格	大原受講生割引価格
酒税法 [講義 2.5時間!!] 国税徴収法 [講義 2.5時間!!] 住民税 事業税 [入門] 固定資産税	映像通学	27回 ^{※1}	各 109,000円	各 105,700円
	Web通信		各 106,000円	各 102,800円

最新の開講一覧や
講義日程はHPにて
ご確認ください。



通信講座 詳細はP.61をご覧ください

上記以外の科目につきましては、1月開講初学者短期合格コースをお申し込みください。

詳細は大原HPをご覧ください

